

今回は、当財団で実施した「“コストシェア型”ライドシェア」に関する調査についてお知らせします。

現在は、移動手段の大きな転換点にあります。

移動ニーズ自体は根強くある中、超高齢社会の進行に伴う運転免許返納者の増加に加え、その代替手段となるべきタクシー・バスもそれぞれドライバー不足問題を抱えています。

タクシードライバー不足への対応策として、2024年4月「日本版ライドシェア」がスタートしましたが、サービス対象地域が一部に限られるなど、ライドシェアのもつ利便性をユーザーが最大限に享受できていないのが実情です。

また、「2024年問題」によりバスドライバー不足も懸念されています。

当状況において、“コストシェア型（同方向に移動するドライバーと乗客をマッチングし、乗客がその費用の一部を負担するしくみ）”のライドシェアは、移動手段の一つとしてプレゼンスが高まる可能性を持っています。

そこでこの度、“コストシェア型”ライドシェアサービス「notteco」を運営するアディッシュユプラス株式会社に取材を行いました。

日本では第二種運転免許を保有していなければ、乗客（旅客）を運んでその対価を得ることはできません。

そのため「notteco」に登録したドライバーと同乗者は、同乗した区間のガソリン代、高速料金を折半することになっています。

同社によると、2024年のマッチング件数は1カ月平均で約300回。

同乗利用者の75%がリピーターで、「一度利用すればその良さは理解してもらえている」と同サービスに対する自信を示しました。

移動費用を按分することから「notteco」登録ドライバー、同乗者双方にメリットがある仕組みではありますが、今後はライドシェアに関連する規制緩和を始め、登録ドライバーを如何にして増やしていけるかがポイントとなりそうです。

当調査報告の詳細は動画化の上、当財団動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」内の「最新のクルマ・交通情報」コーナーに掲載します。

当該動画公開の際は、あらためて当メルマガにてお知らせします。

【「最新のクルマ・交通情報」コーナーURLはこちら↓】

<https://jaef.or.jp/6-kurumajuku/johokan/latest-news/index.htm>

---

日本自動車教育振興財団 メルマガ事務局

【読者の皆さまへ】

私どもは、先生方や高校生の皆さんにより有益なご支援を提供してまいりたいと考えております。

つきましては、当財団の事業やご支援メニューについて、ご意見やご要望等をお寄せください（以下のいずれかの方法にてお願いします）。

1. 当メルマガに返信

2. SNSでのコメント、返信

X（旧 ツイッター） <https://twitter.com/jidousyakyouiku>

フェイスブック <https://www.facebook.com/jaef2019/>